

## 令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等（鹿児島県公立学校）の状況について

令和5年10月6日

義務教育課・高校教育課

学校数：小学校493校，中学校214校，高等学校71校，特別支援学校16校 計794校

児童生徒数：小学校87,035人，中学校43,352人

高等学校28,861人（全日制26,966人 定時制140人 通信制1,755人）

特別支援学校2,595人 計161,843人（R4.5.1現在 学校基本調査）

※ 義務教育学校は小学校，中学校にそれぞれ1校として計上

※ 高等学校は全日制，定時制，通信制をそれぞれ1校として計上

\* 文部科学省が実施した「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を基に県で作成。

### 1 いじめの状況

<いじめの認知件数>

（単位：件）

校種	年度	鹿児島県（公立）				前年比較	全国（国公立）		
		R1	R2	R3	R4		R3	R4	前年比較
小学校		7,794 (87.0)	6,470 (72.8)	7,379 (83.9)	7,531 (86.5)	+152	500,562 (79.9)	551,944 (89.1)	+51,382
中学校		1,925 (45.1)	2,196 (51.5)	2,499 (57.8)	2,932 (67.6)	+433	97,937 (30.0)	111,404 (34.3)	+13,467
高等学校		506 (16.1)	482 (15.8)	350 (11.9)	310 (10.7)	-40	14,157 (4.4)	15,568 (4.9)	+1,411
特別支援学校		34 (14.9)	23 (9.6)	24 (9.6)	47 (18.1)	+23	2,695 (18.4)	3,032 (20.7)	+337
合計		10,259 (61.9)	9,171 (55.8)	10,252 (62.9)	10,820 (66.9)	+568	615,351 (47.7)	681,948 (53.3)	+66,597

※（ ）は1,000人当たりの認知件数（認知件数÷在籍児童生徒数×1,000）

※ 全国（公立）における1,000人当たりの認知件数は公表なし

- 1,000人当たりのいじめの認知件数は66.9件（前年度比4.0件増）であり，全国（国公立）では53.3件（前年度比5.6件増）である。
- いじめを認知した学校（いじめの認知件数が1件以上の学校）は83.2%（前年度比1.9ポイント増）であり，全国（公立）では85.0%（前年度比2.0ポイント増）である。
- いじめの解消率は79.0%（前年度比5.6ポイント減）であり，全国（公立）では77.0%（前年度比3.1ポイント減）である。
- いじめの発見のきっかけは，前年度同様「アンケート調査など学校の取組により発見した」が最も多く51.8%，次に「本人からの訴え」17.8%，「学級担任が発見した」13.8%の順となっている。
- いじめの態様は，前年度同様「冷やかしかからかい，悪口や脅し文句，嫌なことを言われる。」が最も多く62.3%，次に「軽くぶつかられたり，遊ぶふりをしてたたかれたり，蹴られたりする。」20.9%，「仲間はずれ，集団による無視をされる。」11.3%の順となっている。なお，「パソコンや携帯電話等で，ひぼう・中傷や嫌なことをされる。」については3.0%（前年度比0.3ポイント増）であり，全国（公立）では3.4%（前年度比0.1ポイント減）である。
- いじめの重大事態発生件数は5件（1,000人当たり0.03件）であり，前年度より12件減少している。

### 2 不登校の状況

<不登校児童生徒数>

（単位：人）

校種	年度	鹿児島県（公立）				前年比較	全国（公立）		
		R1	R2	R3	R4		R3	R4	前年比較
小学校		466 (5.2)	595 (6.7)	833 (9.5)	1,240 (14.2)	+407	80,825 (13.2)	104,265 (17.2)	+23,440
中学校		1,511 (35.4)	1,671 (39.2)	2,153 (49.8)	2,503 (57.7)	+350	157,019 (52.6)	185,810 (62.7)	+28,791
高等学校		726 (24.3)	723 (25.1)	702 (25.3)	764 (28.2)	+62	37,919 (19.0)	44,395 (22.9)	+6,476
合計		2,703 (16.7)	2,989 (18.6)	3,688 (23.2)	4,507 (28.6)	+819	275,763 (24.8)	334,470 (30.4)	+58,707

※ 高等学校は通信制を除く。

※（ ）は1,000人当たりの不登校児童生徒数（不登校児童生徒数÷在籍児童生徒数×1,000）

- 1,000人当たりの不登校児童生徒数は28.6人(前年度比5.4人増)であり、全国では30.4人(前年度比5.6人増)である。
- 不登校の主たる理由を校種別に見ると、小学校では「無気力・不安」が最も多く42.3%、次に「親子の関わり方」16.6%、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」12.3%の順となっている。中学校では「無気力・不安」が最も多く47.0%、次に「いじめを除く友人関係をめぐる問題」15.7%、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」8.8%の順となっている。高等学校では「無気力・不安」が最も多く34.0%、次に「いじめを除く友人関係をめぐる問題」13.9%、「入学、転編入学、進級時の不適応」9.4%の順となっている。

### 3 暴力行為の状況

＜暴力行為発生件数＞

(単位：件)

校種	年度	鹿児島県（公立）				前年比較	全国（公立）		
		R 1	R 2	R 3	R 4		R 3	R 4	前年比較
小学校		41 (0.5)	63 (0.7)	66 (0.8)	55 (0.6)	-11	47,087 (7.7)	59,933 (9.9)	+12,846
中学校		102 (2.4)	153 (3.6)	100 (2.3)	106 (2.4)	+6	23,583 (7.9)	28,473 (9.6)	+4,890
高等学校		54 (1.7)	56 (1.8)	42 (1.4)	32 (1.1)	-10	2,706 (1.3)	2,905 (1.5)	+199
合計		197 (1.2)	272 (1.7)	208 (1.3)	193 (1.2)	-15	73,376 (6.6)	91,311 (8.3)	+17,935

※ 暴力行為とは、「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」、「器物損壊」を合わせた件数  
 ※ ( ) は1,000人当たりの発生件数(発生件数÷在籍児童生徒数×1,000)

- 1,000人当たりの暴力行為発生件数は1.2件(前年度比0.1件減)であり、全国では8.3件(前年度比1.7件増)である。
- 暴力行為を形態別に見ると、対教師暴力が25件(前年度比11件増)、生徒間暴力が132件(前年度比33件減)、対人暴力が5件(前年度比4件増)、器物損壊が31件(前年度比3件増)である。

### 4 高等学校中途退学の状況

＜中途退学者数＞

(単位：人)

校種	年度	鹿児島県（公立）				前年比較	全国（公立）		
		R 1	R 2	R 3	R 4		R 3	R 4	前年比較
高等学校		245 (7.8)	215 (7.1)	160 (5.5)	233 (8.1)	+73	20,607 (10.0)	22,631 (11.3)	+2,024

※ ( ) は1,000人当たりの中途退学者数(中途退学者数÷在籍生徒数×1,000)

- 1,000人当たりの中途退学者数は8.1人(前年度比2.6人増)であり、全国では11.3人(前年度比1.3人増)である。
- 退学の主な理由は「進路変更」が最も多く60.9%、次に「学校生活・学業不適応」19.3%、「病気・けが・死亡」8.2%となっている。

### 5 自殺の状況

＜自殺した児童生徒数＞

(単位：人)

校種	年度	鹿児島県（公立）				前年比較	全国（公立）		
		R 1	R 2	R 3	R 4		R 3	R 4	前年比較
小・中・高・特		6	5	3	10	+7	272	325	+53